

庁舎等新築の町民サービスへの影響は

町長 コストを抑えて整備をしていく



奥山勝吉 議員

町民サービスの確保に対する影響は

問

施設整備の財源と地区からの要望に対する影響についての考え方は。

町長

有利な財源確保を行いたい。

基金は今回の補正を認めていただければ約6億5000万円となる。起債（借金）で補う場合はいかにコストを抑えていくかの視点で取り組みたい。各施設を順次、整備と廃止を行い、町民サービスの確保を優先する。

公共施設整備基金をどのように使うのか

問

もともと維持補修費を想定していた基金のうち、どのくらいこの事業に使うのか。

副町長

補助金や、

有利な財源で足りない部分に基金を充てる。具体的な数値は基本設計をつくる中で検討していく。

疑問に思う町民が多いようだが考えは

問

新築の概算事業費は31億円で、なぜ今庁舎は、新築にこだわるのか、疑問に思う町民が多いようだが考えは。

企画政策課長

新築せず耐震工

事では事務スペース確保等がなくなる問題がある。新築すれば費用は高くなるが、町民にとつても、利用しやすい施設になると考えている。

借金の返済の計画は

問

人口減少化の中で、何年間で借金を返済するのか計画を問う。

総務課長

過疎対策事業債は12

年、一般事業債は20年間で返済期限であり、これらをベースに予定している。

木材産業の創造に対する考えは

問

作業道整備や木材産業の推進と並行して、複合施設整備を行うべきでは。

農林主幹

森林境界明確化をモ

デル的に行い、この中で森林経営計画をつくり、路網を整備し木を切り出すという方向で進めている。

アンケートを取り、町民の理解を得られた形での整備を

問

町民の理解を得るには。

町長

改めていろいろな機会をいただきながら、町民の皆様にご理解を賜りたい。



山崩れで登れません（からまつ林道）